

静岡市立横内小学校

静岡県埋蔵文化財センター

出前授業レポート

令和4年6月7日（火）

「歴史の学習に興味をもつことができました。」

静岡市立横内小学校の6年生110人が、社会科の歴史授業で、「国づくりへの歩み」を学習する目的で、6年部の柴田先生が出前授業を計画し、発掘調査の概要、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの4つの体験活動を行いました。

発掘調査の概要と周辺 の遺跡について(講話)



埋蔵文化財センターの業務内容と横内小学校周辺の遺跡について、電子黒板を見ながら話を聞きました。メモを取りながら興味深く聞いていました。

・「土器を簡単に振り起こせないことがわかった。」



はじめての会と終わりの会
は、リモートで行いました。

土器の分類体験



縄文時代から古墳時代までの簡単な時代の流れを聞いた後、縄文土器・弥生土器・須恵器の完成品を見ながら、土器片を分類しました。分類に迷った土器片は、完成品と見比べて、色や厚さ、重さ、線の入り方などを頼りに分類していました。作り方の違いが土器の違いになっていることを聞いて納得していました。



石器の試し切り体験



旧石器時代や縄文時代・弥生時代などの話を聞いて、打製石器や磨製石器などの石器の種類や、石器の役割を理解していました。その後、黒曜石を使って、新聞紙や野菜くずを切ってみました。石で野菜が切れることに驚いていました。



・「石で野菜を切れるとは思わなかった。
昔の人の技術はすごいなと思った。」



火起こし体験

学校に着いた時は曇り空だったので、校舎横で火起こしを行いました。3クラスまでは順調でしたが、4クラス目の直前に急に雨が降ってきたので、渡り廊下に道具を移動して再開しました。道具が雨で濡れてしまったので、火が起こせないかと思いながら始めましたが、子どもたちが頑張ったことで、濡れた道具でも何回か火を起こすことができました。



・「雨でつきにくかったけど、みんなの力で火が起きたときは楽しかった。」

・「雨でつかなかったけど、楽しかった。」



柴田先生の感想

「多くの体験をさせていただき、理解を深めることができました。また、興味・関心を高めることができました。実物や写真を用いて、分かりやすく説明していただいたので、その後の学習に活かすことができました。大昔の人々のくらしの中で、人々がどのようなことを考えて集団生活していたのかを考えることができました。いただいた黒曜石を大変喜んでいて、家でも試し切りをしていた子がたくさんいました。」